決算に対する討論

平成21年度決算は、起立多数をもって認定されましたが、５名の議員が各会派を代表して、同決算に対する賛成討論、反対討論を行いました。その概要は次のとおりです。

新政海クラブ　賛成

一般会計決算および５特別会計決算について賛成します。

▽海老名駅駅間地区や西口地区などの事業計画に着手しました。▽えびなっ子サマースクールの開始や全小学校へのエアコン設置は児童生徒に好評でした。▽防犯緊急通報装置の導入など犯罪防止に努めました。▽保証協会の保証料限度額引き上げで、中小企業への支援を行いました。▽耕作放棄地の有効活用に努めました。▽電気自動車の普及促進に努めました。▽歴史収蔵館の整備を行いました。▽えびなの森創造事業で、環境に対する意識高揚に努めました。以上の点を評価します。▽財政指標について、県内トップクラスの健全財政を堅持していることを評価しますが、経常収支比率が悪化しているため、中長期的視野に立った財政運営を望みます。▽限られた財源で事業費を確保するためには、歳入、歳出両面にわたる一層の努力、工夫が求められます。創造的な活動を通じて、最小のコストで最大の満足や価値を提供できるよう、今後も、総合的、計画的なまちづくりを推進し、市民福祉向上のため、事業を推進いただくよう要望します。

平成21年度　歳入歳出決算の状況　（金額の単位は円）

区分	歳入決算額	対前年度伸率	歳出決算額	対前年度伸率	歳入歳出差引額
一般会計	38,742,765,986	6.0%	36,853,487,040	7.1%	1,889,278,946
特別会計	19,893,574,722	▲ 1.5%	19,476,430,738	1.3%	417,143,984
国民健康保険事業	11,009,374,218	▲ 0.9%	10,958,943,275	3.3%	50,430,943
下水道事業	3,441,774,090	▲ 1.4%	3,272,174,719	▲ 0.2%	169,599,371
老人保健医療事業	61,864,852	▲89.7%	52,438,309	▲90.5%	9,426,543
介護保険事業	4,519,670,308	7.5%	4,343,959,367	8.0%	175,710,941
後期高齢者医療事業	860,891,254	9.4%	848,915,068	10.8%	11,976,186
合計	58,636,340,708	3.3%	56,329,917,778	5.0%	2,306,422,930

民主党・無所属　賛成

一般会計決算および５特別会計決算について賛成します。

▽ハード的事業では、さがみ縦貫道路海老名インター開通に伴うアクセス道路の整備や海老名駅自由通路整備への取り組み、小学校空調設備の導入や生命と財産を守る消防署北分署の建設事業などを高く評価します。▽ソフト的事業では、高齢者宅への火災警報器の設置、プレミアム付商品券への補助、中小企業への助成制度の充実、環境に配慮した電気自動車の導入、全国でも珍しい還暦式などの取り組みを高く評価します。▽景気低迷により歳入の見込みが厳しい中、市債、財政調整基金などを十分活用し、今後も不交付団体を堅持するよう要望します。▽児童虐待について、江戸川区のような事件が起こらないよう、万全の対策を願います。▽災害時の避難場所にもなる市内体育館に空調設備を整えるよう要望します。▽中央公園地下駐車場の利用料金制度について、市民から料金制度を改めるべきとの声もあることから、指定管理者と協議願います。▽屋内温水プール建設問題について、その必要性を十分検討願います。

▲地球にやさしい電気自動車

日本共産党　反対

国民健康保険事業、下水道事業、老人保健医療事業の特別会計決算には賛成しますが、一般会計決算とその他２特別会計決算には反対します。

▽海老名駅自由通路整備事業について、自由通路は、所有者が建設すべきものであり、54億円もの税金を投入することは間違った税金の使い方です。▽東柏ケ谷近隣公園の土地取得問題について、市が購入した公園隣接地は変形な土地で利用価値が無く、市の基本計画にも無かった点など疑問点が多いため、納得できません。▽国民健康保険事業について、国保税が払えないという声が広がっています。国民健康保険事業は、本来、政府が負担すべきものですが、市で７億円を超える基金があるならば、国保税額の１世帯当たり１万円の引き下げを行うべきです。▽社家駅前広場の整備について、市は交通安全上の問題と南部の拠点にふさわしい駅前にすることを理由に、用地買収を行うため駅周辺の建物調査を委託し行っていますが、市とＪＲが持つ土地を整理し、自転車やバイクの立体駐車場を設ければ安全確保はできるため用地買収を行う必要はありません。▽21年度はアメリカ発の大金融不況の影響をいかに小さく済ませるかが重要課題であり、経済金融対策を総動員して対応した年でした。本市は定額給付金支給事業を早急に対応し、プレミアム付商品券の発行など生活に直結する事業を積極的に展開しました。また、海老名駅自由通路や海老名インター周辺道路整備、市内に生産販売拠点、住居を求める企業、人のため区画整理事業が実施されました。こうした中、法人市民税は大幅減となっていますが、市の財政指標は、県内トップクラスです。これは、10数年前に海老名駅前開発に取り組み、一大商業施設ができ、市が活気付いたことが大きいでしょう。しかし、都市基盤整備にかかる費用や民生費が増大し、経常収支比率は悪化しています。民生費については、今後、国と給付費の負担をどうするか決めておく必要があると考えます。市政は全体的には健全に運営されていますが、市民や議会と対立が起きないよう情報提供や相互理解に努め、信頼関係を築き運営していくことを期待します。

海政会　賛成

一般会計決算および５特別会計決算について賛成します。

請願・陳情の提出について

請願と陳情は、いつでも受け付けていますが、**11月22日（月）の午後５時15分までに**提出されますと、12月定例会で審査または議員配布されます。（それ以降の提出は、原則として次回定例会の取り扱いとなります。）

詳しくは議会事務局まで、お問い合わせください。

公明党　賛成

一般会計決算および５特別会計決算について賛成します。

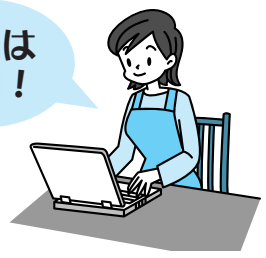
▽海老名駅自由通路の建設推進、さがみ縦貫道路海老名インターの供用開始、消防署北分署の建設など事業を結実させたことを評価します。▽歳入について、市税の減収に対し基金や市債を計画的に活用しています。▽義務的経費について、扶助費が増加しており今後の財政運営の大きな課題です。▽保育、教育環境の充実に向けた施策として民間保育園の開設や、柏ケ谷保育園の定員増を図っています。また、えびなっ子サマースクールは大変好評です。▽学校施設面について、エアコン設置やトイレ改修によりすばらしい学習環境が整いました。▽小児医療費助成制度、妊婦健診助成制度など少子化対策を今後も続けていただくよう要望します。▽高齢者対策について、還暦式の開催、火災警報器の無料設置を評価します。▽中小企業向け融資制度の充実、プレミアム付商品券の発行、遊休農地での菜の花栽培など評価します。課題ある事業は課題を解決し、臨機応変に対応願います。▽市民活動支援施設について早期に設計案を示していただくよう要望します。

▲インターへのアクセスが便利に中新田鍛冶返線

詳しい内容は会議録で

９月定例会の会議録を作成中です。12月には市役所１階の情報公開コーナーや中央図書館で閲覧できますので、ご利用ください。市のホームページでも見ることができます。

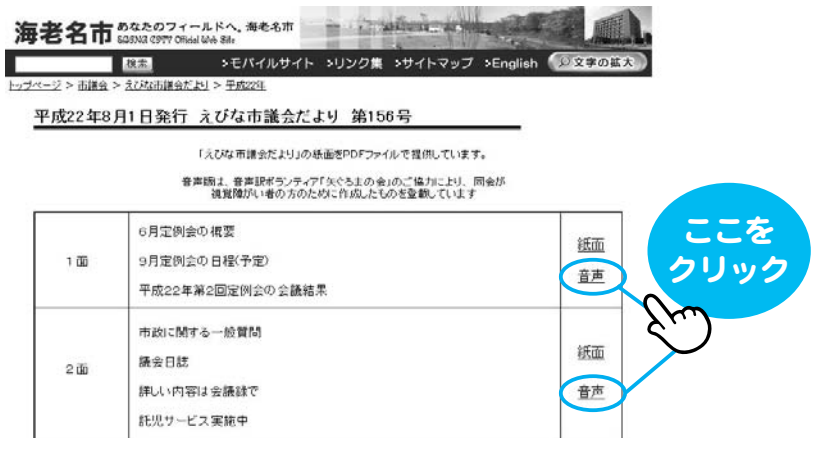
たより音声版を作成しました



市ホームページから市議会だよりを閲覧することができますが、156号から、「音声版」を作成しました。

「音声版」は、同ホームページから「市議会」→「えびな市議会だより」→読みたい紙面の**「音声」**の文字をクリックして聞くことができます。

なお、紙面をご覧いただく場合は、読みたい紙面の**「紙面」**の文字をクリックしてご覧ください。

また、カセットテープに音声を録音した「録音版」も配布しております。障がい者手帳（視覚）をお持ちでご希望の方は、左記までお問い合わせください。

問☎(235)0220
市社会福祉協議会
音声訳ボランティア「矢ぐるまの会」